

# 建設物価 建設資材物価指数<sup>®</sup> 2023年8月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

## 1. 指数の動向（全国平均）

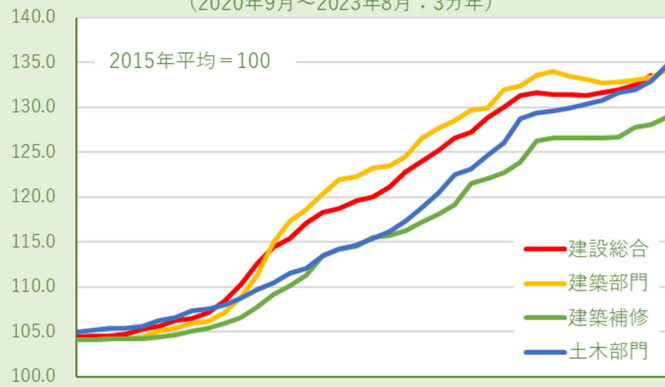
建設総合(全国平均)で **133.6** と前月比 0.9%増(+1.2 ポイント) で過去最高値を更新した。前年同月比では 5.6%増(+7.1 ポイント)。部門別でみると、**建築部門**が **134.3** と前月比 0.7%増(+0.9 ポイント)。**建築補修**が **128.9** と前月比 0.7%増(+0.8 ポイント)。**土木部門**が **134.8** と前月比 1.4%増(+1.8 ポイント)。

生コンクリートは、セメント等の原材料高を背景に、多くの地区で価格が上伸し、大きくプラスに寄与した。その他、グレーチングや石こうボードは、原材料費や輸送コストの増加を転嫁した値上げが市場に浸透し、プラスの影響を及ぼす結果となった。

一方、異形棒鋼、H形鋼等の鉄鋼製品は、需給緩和を背景とした市場価格の下落がマイナスに寄与した。

## 建設資材物価指数【全国平均】

(2020年9月～2023年8月：3カ年)



## 2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

### 【窯業・土石製品】生コンクリート・石こうボード

原材料費の高騰や輸送コストの増加を販売価格に転嫁したことが大きくプラスに寄与

### 【金属製品】グレーチング

鋼材等の原材料費の高騰や輸送コストの増加を販売価格に転嫁したことがプラスに寄与

マイナス寄与

### 【紙・木製品】一般建築用木材（管柱）

需要減少から販売店間の競争が再燃・激化。下げ止まっていた価格が再度下落に転じ、マイナスに寄与

### 【鉄鋼】異形棒鋼・H形鋼

異形棒鋼は需要低迷から価格競争が激化、H形鋼は荷動き鈍く、買い手市場が値下げを招き、マイナスに寄与

## 建設総合 前月比寄与度【全国平均】



## 建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



## 3. 都市別の動向（建設総合部門）

都市別では、【広島】【仙台】【東京】【新潟】の順で指数が上昇しており、変動率が最も大きかった【広島】では、生コンの値上げ額が2,500円/m<sup>3</sup>と高額だったことに加え、自由勾配側溝や積みブロック等のコンクリート製品が幅広く上伸したことから、指数は前月比 **1.5%増**と大きく上昇した。

また【東京】でも、一般建築用木材の製材（管柱）価格の下落がマイナスに寄与したものの、生コンが2,000円/m<sup>3</sup>上伸したことが、大きくプラスに寄与し、前月比 **1.2%増**となった。

一方、変動率が最も低かった【大阪】では、石こうボードやグレーチングの価格上伸がプラスに寄与したものの、異形棒鋼の価格下落が大きく影響し、指数は前月比 **0.3%増**にとどまった。

## 各地の建設総合部門の指数【8月分】

全国平均：133.6 前月比 +0.9% 前年同月比 +5.6%	新潟：130.3 前月比 +0.7% 前年同月比 +3.6%	札幌：134.2 前月比 +0.5% 前年同月比 +7.6%
広島：132.3 前月比 +1.5% 前年同月比 +5.6%	大阪：138.1 前月比 +0.3% 前年同月比 +6.0%	仙台：129.3 前月比 +1.3% 前年同月比 +4.9%
福岡：135.2 前月比 +0.4% 前年同月比 +5.6%	那覇：133.1 前月比 +0.4% 前年同月比 +6.5%	東京：133.3 前月比 +1.2% 前年同月比 +5.5%
	高松：139 前月比 +0.3% 前年同月比 +5.4%	名古屋：134.1 前月比 +0.5% 前年同月比 +6.1%



一般財団法人  
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp